

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ①小中一貫教育及び教科「日本語」の推進
②目標値	教科「日本語」保護者や地域への公開授業実施率 〔平成29年度〕平成29年度末までに全小中学校で実施（100%）
③今年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月策定の「鳥栖市小中一貫教育基本計画」に基づき、小中学校が目標を共有し、教職員一体となって学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組めます。 教科「日本語」を核とした小中一貫教育を積極的に進めます。
④上半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「鳥栖市小中一貫教育基本計画」が6年を経過したことから、見直しの検証を進めた結果、部分修正を行うこととしました。 「小中一貫教育に関する調査研究」を鳥栖西中学校区3校に委嘱し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育活動、教科「日本語」を柱とした調査研究に取り組んでいます。 「鳥栖市教育の日」を6月1日に実施し、すべての小中学校で教科「日本語」の授業を公開しました。 教科「日本語」の実践事例集作成に向けて、各小中学校の教科「日本語」コーディネーターの研修会を開催しました。
⑤下半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「鳥栖市小中一貫基本計画」の見直し作業を行っています。平成30年度「小中一貫教育に関する調査研究」発表を平成30年11月22日に開催することに決定しました。 教科「日本語」の実践事例集作成に向けて、コーディネーター研修会を実施しました。
⑥数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> 教科「日本語」の授業公開については、すべての小中学校の全クラスで公開しました。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> 教科「日本語」を柱にした小中一貫教育の充実を図り、児童生徒の学力向上、特に活用力を身につけさせたいと考えています。

◇所管部長の指示

上半期

教科日本語を核とした小中一貫教育が定着し、小中学生の学力の向上も伴ってきているので、さらなる向上を目標に進めること

下半期

教科日本語を核とした小中一貫教育を着実に推進し、次年度以降も引き続き教科日本語を核とした小中一貫教育を軸に、小中学生の学力の向上を進めること

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ②学校評議員活用及びコミュニティ・スクール導入準備
②目標値	コミュニティ・スクール設置数 〔平成29年度〕 現状値0 / 12校 ⇒ 平成29年度末 H30導入校の決定
③今年度の取組方針	各小中学校で特色ある開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員会を活用し、評議員の方々から意見や要望等を積極的に聞き、学校運営に役立てます。また、コミュニティ・スクール導入についての具体的準備を始めます。
④上半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール導入に向けて、8月実践発表研修会に参加し、コミュニティ・スクール導入により、期待できる学校づくりや課題について把握しました。 ・平成30年度導入校を内定しました。 ・将来、小中12校への順次導入計画を立てました。 ・小中一貫教育とコミュニティ・スクールを融合させることとしました。
⑤下半期の取組内容	・平成30年度コミュニティ・スクール導入に向けて、関係条例、規則等の改正等の準備を進めています。
⑥数値目標の結果	・平成30年度はコミュニティ・スクールを基里小学校、基里中学校の2校に導入することを決定しました。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	・導入後、進捗状況を含めて検証を行い、翌年度の活動に活かしていきたいと思えます。

◇所管部長の指示

上半期

コミュニティ・スクール制度導入に向けて、準備に取り掛かること。

下半期

コミュニティ・スクール制度導入に向けて、制度の整備等を行い、次年度の実施に向けて具体的に地域の方々とのコミュニケーションを図ること。

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	特色ある学校づくりを進めます ③特別支援教育の充実
②目標値	指導主事の学校への派遣回数 〔平成29年度〕 平成29年度末までに延べ40回以上派遣（1校3回以上）
③今年度の取組方針	生活指導補助員の資質向上のために研修会を実施したり、指導主事による各学校への巡回指導、支援をしたりするなどして特別支援教育の充実に努めます。
④上半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導補助員の資質向上のため、研修会をこれまでに2回開催しました。その内1回は、若楠療育園の橋本武夫先生を講師に迎え、生活指導補助員の他、各小中学校の特別支援学級担任等も研修に参加しました。 担当指導主事を各学校に派遣し、特別支援学級について、学校職員に聞き取りを行ったり、実態把握に努めたりしながら、指導助言を行いました。（8月末現在、延べ30回訪問） 担当指導主事が市内保育園・幼稚園（25園）を訪問し、障害のある園児の実態を把握したり、保護者や園の先生の相談に応じたりしました。
⑤下半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導補助員の資質向上のため、第3回研修会を12月23日に開催し、実践事例をもとに研修しました。 11月24日に市就学指導委員会を開催し、平成30年度の就学先について専門家にご意見をいただきました。
⑥数値目標の結果	各小中学校への指導主事派遣の回数は延べ53回（平成30年1月末）、その他市内幼稚園・保育所等へ訪問し、園等の先生方の相談、保護者の相談に応じました。
⑦成果と課題（次年度に向けて）	来年度も市としての方針を示し、丁寧な相談と適正就学に努めます。

◇所管部長の指示

上半期

就学前の相談・把握の充実に努めること。

下半期

就学前の相談・把握の充実に努め、個々の事案に最も適する方策を保護者の皆さんと共に構築すること。

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	豊かな心、健康な体を育む教育の充実を図ります ①いじめ防止の取組の充実
②目標値	すべての学校でいじめ防止に関する研修会を実施 〔平成29年度〕 平成29年度末までに全小中学校で実施（100%）
③今年度の取組方針	いじめはどの学校でも、どの子どもにも生じうるという緊張感をもち、未然防止と早期発見・早期対応の意識を高めます。
④上半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校12校に、夏季休業中に、担当指導主事を派遣し、いじめ防止、早期発見、対応等についての事例研修会を行いました。教員一人一人が自分のこれまでの対応等について振り返ることができました。 ・いじめ問題対策委員会を7月に開催しました。今年度の取組、いじめ事案発生状況等を報告し、指導助言をいただきました。 ・夏季休業中に、「なくそう いじめ」子ども会議を開催し、中学校区ごとに取組の発表、児童会、生徒会で共通していじめ防止へ向けて取り組む内容を話し合いました。
⑤下半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・10月と1月に、いじめ問題検討委員会を開催し、事例についてご意見をいただくとともに、教職員の意識改革に努めました。
⑥数値目標の結果	・すべての学校でいじめ防止に関する研修会を実施しました。（100%）
⑦成果と課題（次年度に向けて）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、35件（2/5現在）のいじめの認知を行いました。昨年よりも高い意識をもち、積極的に認知し対応しました。 ・いじめを見逃さない意識をもって、児童生徒の健全育成に努めたいと思います。

◇所管部長の指示

上半期

いじめの見逃しが無くなるよう早期発見・処置に努めること。

下半期

いじめの見逃し「0」となるよう早期発見・処置に努めること。

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 平川 富久

①重点施策項目名	豊かな心、健康な体を育む教育の充実を図ります ②子どもたちの体力向上
②目標値	すべての中学校で外部指導者による体力向上教室の開催 〔平成29年度〕 平成29年度末までに全中学校で実施（100%） （小学校はH28に実施済）
③今年度の取組方針	子どもたちの体力に関する実態を継続的に把握し、体育や保健体育の授業の改善や授業以外の活動の中で、運動習慣を定着させ、一体的かつ効果的な体力向上を目指します。
④上半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内3中学校（1校未実施）で、教員対象と生徒対象に体力向上プラン支援事業を行いました。 ・まず、教員を対象に、体力向上、けが防止、ストレッチ、トレーニング方法等、理論と実践を交えて体力向上研修会を実施しました。 ・中学生の保健体育の授業の中で、同じようにストレッチ、体幹トレーニング等、体づくり運動を指導しました。 ・各学校で体力向上プランを作成し、校長研修会で紹介しました。
⑤下半期の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内1中学校で、教員対象と生徒対象に体力向上プラン支援事業を行いました。
⑥数値目標の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての中学校で外部指導者による体力向上教室を開催しました。（100%開催）
⑦成果と課題（次年度に向けて）	<ul style="list-style-type: none"> ・体カテストの結果を分析するなどして、子供たちの傾向を継続的に把握して、体力の向上に向けて、体育の授業の改善、部活動の在り方等について改善を図っていきます。

◇所管部長の指示

上半期

けがをしにくい準備・トレーニング指導の充実に努めること。

下半期

けがをしにくい準備・トレーニング指導の充実に努めること。